

第23回 日本の次世代 リーダー養成塾

問い合わせ先: 日本の次世代リーダー養成塾

専務理事・事務局長 加藤 暁子

報道関係者連絡先

【電話】 090-1113-3914 【メール】 akiko4asia@gmail.com
03-5466-0804 info@leaderjuku.jp

【住所】 〒107-0062 東京都港区南青山 5-12-28-403

【公式】 <http://leaderjuku.jp>

塾期間中(7月29日～8月9日)の事務局連絡先

【電話】 0940-33-1384 【メール】 info@leaderjuku.jp

【住所】 〒811-4153

福岡県宗像市吉留 46-1 クラブハウス 2 階応接室

戦争や内戦、地球環境問題などは日本にも大きな影響を及ぼしています
「私たちはどう生きるか～ふるさとニッポンと世界をつなぐ明日の世界地図」と題して
全国の高校生が期間中「グローバル・ハイスクール・サミット」で地球市民として
日本から世界に何ができるかを討議します

8月8日に101歳のマレーシアのマハティール元首相が講義
「激動と混乱の時代に次世代リーダーが果たす役割」と題して講義します

「日本の次世代リーダー養成塾」は、一般社団法人日本経済団体連合会の筒井義信会長を塾長に日本だけでなく、世界に通用するリーダーの育成を目指した高校生対象の1泊12日のサマースクールです。経済界や地方自治体がスクラムを組み、2004年に開塾、今年で23回目を迎えます。7月29日(水)から8月9日(日)まで、福岡県宗像市のグローバルアリーナ、佐賀県波戸岬少年自然の家で実施します。

【全国・海外の高校生150人が参加します】

全国25都道府県と海外(アメリカ、タイ、ベトナム、マレーシア、南アフリカ)で学ぶ日本の高校生150人が1泊12日寝食を共にします。

卒塾生は今年の参加高校生が卒塾すると人と3854人となります。日本や海外の大学・大学院に進学した後に、社会人として外交官、国家・地方公務員、医師、教師、政治家、起業家、金融機関や商社、製造業などの企業、国際機関や世界各地でNGOを立ち上げ、社会に貢献できる人財として活躍しています。塾期間中は、協賛企業や卒塾生らの社会人がクラス担任を務め、卒塾生を中心とした大学生がボランティアとして、塾生の指導をします。

【一流講師による講義】

塾では、日本や世界を代表する学者、経済人ら各界を代表する一流の講師が講義を行います。マレーシアで1981年から22年間首相を務め、92歳で首相として再登板したマハティール元首相は今年7月、101歳になりました。8月8日(土)午前11時から「激動と混乱の時代に次世代リーダーが果たす役割」と題して講義します。マハティール氏は勤勉な日本人から学ぶ「ルック・イースト政策」を国是とした親日家です。第二次世界大戦を経験した政治家として、文明の衝突を避けるために次世代がこれから何を学び、何をしなければならないかを指南します。

この他期間中、中東問題の専門家である慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科教授、日本を代表する国際政治学者の佐橋亮・東京大学東京文化研究所教授、長船健二・京都大学iPS細胞研究所副所長・教授ら学者、経済人、知事、芸術家ら日本を代表する23人の講師が講義をします。(講師一覧とマハティール氏関連は別紙)

【グローバル・ハイスクール・サミット】

期間中毎日、6つのクラスで徹底的に議論するプロジェクト型取り組み「グローバル・ハイスクール・サミット」を行います。今年のテーマは「私たちはどう生きるか～ふるさとニッポンと世界をつなぐ明日の世界地図」。7月30日(木)のキックオフでは、クラスごとに現在起きている戦争や紛争など世界で起きている現象で塾生が住んでいる地域でどんな問題が起きているのかを発表。その上で、世界で起きている課題とは何かを議論し、8月1日(土)～8月4日(火)には全世界の高校生を対象とした交換留学団体(公財)AFS日本協会と約1年間、九州の高校で学んでいる留学生からそれぞれの地域で起こっている課題を聞き、共に討議します。そして、次世代リーダーが地球市民として、世界で起こっている課題の取り組むかを議論し、8月7日(金)に最終発表を行います。8月8日(土)にマハティール元首相の前で代表者が発表を行います。(詳細は別紙)

【フィールドトリップ】

*宗像大社見学 8月4日(火)

2017年7月に世界遺産登録が決定した『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の中心となる宗像大社辺津宮(総社)を訪れ、神宝館で世界遺産である沖ノ島で発掘された国宝(8万点の一部)などを見学します。

*タカミヤ環境ミュージアム 8月4日(火)

1960年代に北九州市が直面した深刻な公害問題を市民・行政・企業がいかに克服したか。また、現在、国内外から「環境モデル都市」として注目されているのはなぜかを学びます。

*佐賀県立名護屋城博物館を見学 8月1日(土)

佐賀県立名護屋城博物館では、日本と朝鮮半島のこれまでの歴史に関する貴重な資料を見学することで、日本と朝鮮半島がどのような歴史を歩んできたのかを学びます。

関連したテーマの講師として、8月2日(日)に李鳳宇・映画プロデューサーと沈壽官・薩摩焼十五代が佐賀県波戸岬少年自然の家で講義します。

*8月1日(土)午後1時から、佐賀県立名護屋城博物館で山口祥義・佐賀県知事が講義します。

【目標宣言と夢ディスカッション】

12日間の集大成として、8月7日(金)には夢ディスカッションを行い、8月8日(土)には塾生一人一人がリーダー塾を終えて、自分の将来の目標を発表します。

【報道に関する連絡先】

日本の次世代リーダー養成塾 専務理事・事務局長の加藤暁子の携帯番号とメールをお願いします。

<携帯電話> 090-1113-3914 <メール> akiko4asia@gmail.com

【添付資料】

1. 事業概要
2. 講師・講義タイトル
3. カリキュラム表
4. グローバル・ハイスクール・サミット
5. 主催者からのメッセージと役員等名簿
6. 塾生概要
7. 塾生高校一覧

第 23 回日本の次世代リーダー養成塾 事業概要

1. 主催者

日本の次世代リーダー養成塾（塾長：筒井義信／一般社団法人日本経済団体連合会会長）

2. 塾開催日程及び開催施設

（１）開催日程

2026 年 7 月 19 日(日) 13:00～18:00/オンライン

2026 年 7 月 29 日(水)～8 月 9 日(日)/合宿形式

（２）開催施設

① グローバルアリーナ（福岡県宗像市吉留 46-1）

② 佐賀県波戸岬少年自然の家（佐賀県唐津市鎮西町名護屋 5581-1）

※佐賀県波戸岬少年自然の家には 8 月 1 日(土)～8 月 4 日(火)の 3 泊 4 日で宿泊

3. 塾生

（１）対象

高校 1 年生～3 年生 150 名 ※準ずる学校や海外の学校に在籍・留学中も可

（２）内訳

出願区分	参加人数	対象
一般公募枠	62 名	日本全国・海外を対象とする。
参画自治体推薦枠	88 名	参画自治体(北海道/青森県/岩手県/和歌山県/福岡県/佐賀県 宗像市/うるま市)からの推薦による。

4. カリキュラム概要

① 各界を代表する講師陣による講義

● 教養系（哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など）

日本や世界の第一線で活躍する講師が高校生の知的好奇心を刺激します。

● ビジネス系（日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど）

世界を相手にビジネスの最先端で日夜活躍する講師が、日本の企業の強みや弱み、ひいては日本の国のあり方を伝えます。

● 国際系（国際問題や外交、国連や N G O 活動への理解）

世界を学び、日本人としてのアイデンティティと国際社会で通用する力をつけます。

● 人間学（将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など）

人生の先達が 21 世紀の日本を背負って立つ人材に必要なことは何かを語ります。

② 豊富なディスカッション時間/グローバル・ハイスクール・サミット

12 日間を通して社会課題の解決に向けた議論をクラスや留学生と行い、具体案を提言する「グローバル・ハイスクール・サミット」を開催します。

③ 将来の夢と生き方を見つめる

クラス担任や大学生と将来への不安や疑問に向き合い、「夢ディスカッション」では同世代の仲間と共に人生設計を考えます。終盤には「目標宣言」で自らの夢と決意を全員の前で発表し、未来への一歩を踏み出します。

④ フィールドトリップ

● 佐賀県立名護屋城博物館で当時の貴重な資料や遺産を見学し、日本列島と朝鮮半島の交流史を学び、歴史的背景への理解を深めます。

● 宗像大社神宝館で世界遺産”沖ノ島”で出土した国宝(8 万点の一部)などを見学します。

● 北九州市にある株式会社安川電機の工場・みらい館を見学し、ロボットと人間の共生を、タカミヤ環境ミュージアムで SDG s について学びます。

第 23 回日本の次世代リーダー養成塾講師一覧と講義タイトル

1. 葦津 敬之 / 宗像大社宮司
「宗像の世界遺産への取り組みと環境問題」
2. 市川 浩文 / 佐賀県立名護屋城博物館学芸課長
「肥前名護屋城と名護屋城博物館」
3. 伊藤 義将 / タカミヤ(北九州市)環境ミュージアムガイド
「北九州市公害克服の歴史と今」
4. 小笠原 浩 / (株)安川電機代表取締役会長兼社長
「日本の製造業とロボット」
5. 長船 健二 / 京都大学 iPS 細胞研究所副所長・教授
「iPS 細胞を用いた再生医療の現状と未来」
6. 笠谷 和比古 / 国際日本文化研究センター名誉教授
「映画『オッペンハイマー』を観て一原爆神話批判—」
7. 小手川 強二 / フンドーキン醤油(株)代表取締役会長
「発酵食品が繋ぐ国際化」
8. 坂本 信博 / (株)西日本新聞社メディア戦略局兼編集局上級専門委員メディア戦略担当部長
「巨竜に迫った3年間 ～ 隣人・中国とどう向き合うか」
9. 櫻井 龍子 / 元最高裁判所判事、(一財)日本カメラ財団理事長
「社会のために働くということ—国家公務員や裁判官を経験して」
10. 佐々木 久美子 / BABY JOB(株)取締役CSO、(株)グルーヴノーツ創業者
「高校生が知っておくべきテクノロジーのインパクト」
11. 佐橋 亮 / 東京大学東洋文化研究所教授
「世界の人々の平和と繁栄をどうすれば実現できるのか？」
12. 滝 久雄 / (株)ぐるなび取締役会長・創業者、(株)NKB取締役会長・創業者
「やらなければならないことは、やりたいことにしよう！」
13. 田中 浩一郎 / 慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
「中東パワーポリティクスと日本」
14. 沈 壽官 / 薩摩焼十五代
「伝統を守り現代を表現する」

15. 中川 智博 / 外務省経済局経済連携課首席事務官
「世界とつながる力—外交・言葉・そして人」
16. 中嶋 優子 / 国境なき医師団(MSF)日本会長、救急医、麻酔医
「世界を飛び回る救急医、国境なき医師団会長が語る一命を守る医療援助の最前線」
17. マハティール・ビン・モハマド / 元マレーシア首相(第4代・7代首相)
「激動と混乱の時代に次世代リーダーが果たす役割」
“What Role Should Next Leaders Take in Turbulent and Chaotic Era”
18. 南野 森 / 九州大学法学部教授
「憲法とは何かを考える—最近の改憲論議にもふれながら」
19. 宮川 眞喜雄 / 前内閣国家安全保障局国家安全保障参与
「歴史を読み。科学を学べ。危機を予知し、皆を率いて対処せよ。
日本のために、そして我々のアジアのために」
20. 村岡 浩司 / (株)COCOO 代表取締役
「社会課題を、希望の事業に変える—地域と人の可能性から始まるソーシャルアクション—」
21. 山口 祥義 / 佐賀県知事
「佐賀から世界へ」
22. 李 鳳宇 / 映画プロデューサー、(株)スモモ代表取締役、日本大学芸術学部映画学科講師
「映画で考える、我々の過去と未来」
23. 加藤 暁子 / 日本の次世代リーダー養成塾専務理事、(公財)AFS 日本協会理事長
「“Warm Heart Cool Head” 激動の時代に先を照らすリーダーとは」

(敬称略・五十音順)

グローバル・ハイスクール・サミット 2026



「私たちはどう生きるか〜ふるさとニッポンと世界をつなぐ明日の世界地図」

自分が生まれ育った地域と、地球のどこかで起きている出来事を自分とは無関係のどこか果てしなく遠い存在と思っていませんか。しかし、実際には限りなく近いことに日々実感する場6つ面が増えてきたのではないのでしょうか。

「身近な地域課題を解決したい」「地元に貢献したい」という思いを持って、日々の生活を過ごしている人も多いことと思います。リーダー塾では全国各地や海外で学ぶ志の高い高校生が集まる他にはない貴重な機会です。塾生には地域の代表としての視点や知識をリーダー塾に結集させ、全国の仲間と学びを深め、塾終了後には故郷へと還元してもらいたいと思っています。まさにリーダー塾は未来への扉を開ける「はじめの一步」です。

リーダー塾の大きな特徴は、全期間を通して「グローバル・ハイスクール・サミット」を開いて、6つのクラスで日本や世界が今まさに直面している課題について深く考え、その解決に向けてチャレンジします。塾生は地域の代表者であると同時に、「地球市民」の一員です。

国と国の間には「国境」がありますが、この開かれた国際社会において、もはや地域の視点だけでは重要な課題を解決することはできません。国境を越えて人・モノ・情報が絶えず行き交い、相互に作用し合う今日の社会において、地域と世界を横断する視点で課題に向き合うことは、地球市民の責務です。地域が抱える諸課題の背景にある、根本的な全国規模の課題や国際問題が解決されない限り、やがてまた、それらの問題は形を変え、再び地域社会を襲うこととなります。

冷戦終結時、フランシス・フクヤマをはじめとする多くの識者は、「これからは平和な時代が到来する」という希望的観測を述べました。しかし、現在の世界情勢はそのような見解とは大きく乖離し、国家間の戦争や軍事衝突のみならず、国際化した紛争や内戦も深刻化し、各地で戦火は激化し続けています。塾生の多くが「現在関心のある国際問題」として挙げた「ホルムズ海峡を巡る問題」も、その極一部に過ぎません。

平和外交だけでは解決し得ない、政治的・経済的混乱が絶えない現代の国際社会は、日本にとって決して対岸の火事ではないのです。秒単位で局面が変化し、世界中に課題の種を蔓延させる今日の情勢下では、国際情勢に対して常にアンテナを張り続けることが不可欠です。

【塾生に課した事前課題】

私たちの住む地域では何が起きていて、世界ではいったい何が起きていますか。

それらの問題に、地域の一員として、何ができますか。

そして、世界の課題解決に向けて、日本から何ができるのでしょうか。

今年のグローバル・ハイスクール・サミットでは、「次世代の世界地図」を描き、次世代による政策提言を行います。

「私たちはどう生きるか ～ふるさとニッポンと世界をつなぐ明日の世界地図～」

このテーマに真摯に向き合い、世界へ向けて次世代のメッセージを発信してください。そして、ここで発した言葉や想いに責任を持ち、リーダー塾を卒塾した日から、未来に向けて行動を開始してほしいと願っています。

皆さんの未来に向けた挑戦への第一歩となる「グローバル・ハイスクール・サミット 2026」、ここに開幕です。

なお、「あなたの生まれ育った地域」としてありますが、保護者の転勤などで、「生まれ育った地域」と「今住んでいる場所」が違う場合もあると思います。その場合は、あなたにとって最も故郷と思える場所を選んでください。今回のテーマは、日本と世界を繋いで課題解決にチャレンジしますので、海外から参加の場合も日本で生まれ育った地域、もしくは住んだことのある身近な日本の地域を挙げて以下の事前課題に取り組んでください。

国際情勢に影響を受けている地域の課題には、どのようなものがあるでしょうか。皆さんの「身近な地域」で実際に起きている問題に目を向け、以下の 1. ～3. についてまとめてみましょう。手書き・文章・イラスト・図解など、表現方法は自由です。

1. 地域課題

まず、自分の地域を明記してください。その地域で実際に起きている問題を 1 つ取り上げ、その現状や背景、原因について調べてまとめてみましょう。

2. 国際課題

次の国際的なテーマの中から 2 つ以上を選び、1 で取り上げた地域課題と関連づけながら、「地域の問題が国際社会とどのようにつながっているのか」をまとめてみましょう。

- ① 環境問題 ② エネルギー ③ 政治的イデオロギー
④ 宗教 ⑤ 経済対立 ⑥ 人権問題

3. 解決策

あなたが考える地域課題の解決策について、2. で考えた国際的な視点とも関連づけながら、自分の考えをまとめてみましょう。

これらの事前課題に取り組んだのち、リーダー塾本番では 6 つのクラスに分かれて塾期間中を通して、世界で起きている現象が自分の住んでいる地域に及ぼしている問題とは何か。世界で起きている問題はなぜ起こり、現状はどうなっているのか。それらの問題を地球市民として、いかに解決するために次世代のリーダーは何ができるのかを徹底的に議論して、自分たちができることを導き出していきます。

主催者からのメッセージ

筒井 義信 塾長（一般社団法人日本経済団体連合会会長）



いま、世界は大きな試練のただ中にあります。地球環境問題はもちろんのこと、国際秩序を含めて、これまで「当たり前」と思ってきた物事がいともたやすく変貌する様を私たちは日々目の当たりにしています。わが国に目を転じれば、少子高齢化・人口減少、資源・エネルギー制約など様々な課題が複雑なパズルのように入り組んで、私たちの眼前に立ちはだかっています。

こうした状況下で私たちには何ができるでしょうか？私は、「科学技術立国」と「貿易・投資立国」によるわが国の確かな成長の実現に向けて、中長期の視点からロードマップを描いていくことが重要と考えています。具体的には、イノベーション、税・財政・社会保障の一体改革、地方創生、労働改革、経済外交の強化という5つの分野に果敢に挑戦することが必要です。

次世代のリーダーを志す皆さんには、こうした国家規模、いや、世界規模の課題を自分事として捉え、構想力、実行力、協働力を存分に鍛えていただきたいと思います。必要なのは、広い視野と中長期の視点、そして一步を踏み出す勇氣です。失敗を恐れず挑戦し、多様な仲間と切磋琢磨しながら、世界に新たな価値をもたらすフロンランナーとなっていきたいと思います。私は、変化のさなかにいる皆さんの情熱と行動力こそ、次の時代を切り拓く最大の原動力であることを信じてやみません。私も塾長として、皆さん一人ひとりの挑戦を心から応援しています。

「日本の次世代リーダー養成塾」役員等名簿

2026年7月23日現在（五十音順）

塾長	筒井 義信／一般社団法人日本経済団体連合会会長
塾長代理	榊原 英資／イーエスフォーラム株式会社代表、財務省元財務官
筆頭理事	服部 誠太郎／福岡県知事
理事	浅野 史郎／土屋総研特別研究員、元宮城県知事
理事	石原 進／九州旅客鉄道株式会社名誉顧問
理事	伊豆 美沙子／福岡県宗像市長
理事	鈴木 直道／北海道知事
理事	高橋 温／三井住友信託銀行株式会社名誉顧問
理事	滝 久雄／株式会社ぐるなび取締役会長・創業者 株式会社NKB取締役会長・創業者
理事	達増 拓也／岩手県知事
理事	橋田 紘一／特定非営利活動法人九州・アジア経営塾理事長兼塾長
理事	溝上 泰弘／株式会社ミズホールディングス会長
理事	宮崎 泉／和歌山県知事
理事	宮下 宗一郎／青森県知事
理事	宗政 寛／株式会社サニックスホールディングス代表取締役社長
理事	山口 祥義／佐賀県知事
専務理事	加藤 暁子／日本の次世代リーダー養成塾事務局長が兼務
監事	樋口 和光／九州電力株式会社常務執行役員

第 23 回日本の次世代リーダー養成塾 塾生概要

塾生総数 150名 25都道府県+5か国（アメリカ、タイ、ベトナム、マレーシア、南アフリカ）

○参画自治体推薦枠 88名

	都道府県	人数
1	北海道	11 名
2	青森県	12 名
3	岩手県	6 名
4	和歌山県	12 名
5	福岡県	29 名
6	佐賀県	13 名
7	宗像市	3 名
8	うるま市	2 名
計		88 名

○一般公募枠 62名

	都道府県	人数
1	青森県	1 名
2	宮城県	1 名
3	埼玉県	2 名
4	千葉県	4 名
5	東京都	8 名
6	神奈川県	2 名
7	富山県	1 名
8	長野県	1 名
9	岐阜県	7 名
10	静岡県	7 名
11	愛知県	1 名
12	大阪府	1 名
13	兵庫県	4 名
14	島根県	1 名
15	岡山県	1 名
16	愛媛県	2 名
17	福岡県	7 名
18	長崎県	1 名
19	熊本県	1 名
20	大分県	1 名
21	沖縄県	2 名
22	海外	6 名
計		62 名

第 23 回日本の次世代リーダー養成塾 塾生高校一覧

25 都道府県+5 か国（アメリカ、タイ、ベトナム、マレーシア、南アフリカ） 109 校

学校所在地	学校名
北海道	札幌市立札幌開成中等教育学校
	北海道岩見沢東高等学校
	北海道夕張高等学校
	私立遺愛女子高等学校
	私立札幌第一高等学校
	私立藤女子高等学校
	私立北星学園女子高等学校
	私立北海学園札幌高等学校
青森県	青森県立青森高等学校
	青森県立七戸高等学校
	青森県立八戸西高等学校
	青森県立弘前南高等学校
	青森県立三沢高等学校
	私立青森明の星高等学校
	私立八戸工業大学第二高等学校
	私立八戸聖ウルスラ学院高等学校
岩手県	岩手県立岩谷堂高等学校
	岩手県立大船渡高等学校
	岩手県立釜石高等学校
	岩手県立葛巻高等学校
	岩手県立盛岡第四高等学校
宮城県	宮城県仙台二華高等学校
埼玉県	国立筑波大学附属坂戸高等学校
	埼玉県立浦和第一女子高等学校
千葉県	千葉県立千葉高等学校
	私立市川高等学校
	私立国府台女子学院高等部
	私立成田高等学校
東京都	東京都立国分寺高等学校
	私立学習院女子高等科
	私立錦城高等学校
	私立麹町学園女子高等学校
	私立田園調布雙葉高等学校
	私立東京立正高等学校
	The American School in Japan
神奈川県	私立聖セシリア女子高等学校
	私立洗足学園高等学校
富山県	富山県立高岡高等学校
長野県	UWC ISAK Japan
岐阜県	岐阜県立岐阜北高等学校
	岐阜県立関高等学校
	岐阜県立長良高等学校
	私立鶯谷高等学校
	私立帝京大学可児高等学校
静岡県	静岡県立藤枝東高等学校
	静岡市立高等学校
	私立静岡サレジオ高等学校
	私立不二聖心女子学院高等学校
愛知県	私立東邦高等学校
大阪府	大阪府立水都国際高等学校
兵庫県	西宮市立西宮高等学校
	私立AIE国際高等学校
	私立啓明学院高等学校
	私立淳心学院高等学校
和歌山県	和歌山県立田辺高等学校

学校所在地	学校名
和歌山県	私立開智高等学校
	私立近畿大学附属和歌山高等学校
	私立智辯学園和歌山高等学校
島根県	島根県立出雲高等学校
岡山県	私立ワオ高等学校（通信制）
愛媛県	愛媛県立南宇和高等学校
	私立済美平成中等教育学校
福岡県	福岡県立ありあけ新世高等学校
	福岡県立輝翔館中等教育学校
	福岡県立小倉高等学校
	福岡県立早良高等学校
	福岡県立城南高等学校
	福岡県立筑紫高等学校
	福岡県立筑紫丘高等学校
	福岡県立筑紫中央高等学校
	福岡県立戸畑高等学校
	福岡県立宗像高等学校
	福岡県立八幡高等学校
	福岡県立山門高等学校
	福岡県立八女高等学校
	私立九州産業大学付属九州高等学校
	私立九州産業大学付属九州産業高等学校
	私立上智福岡高等学校
	私立筑紫女学園高等学校
	私立東筑紫学園高等学校
	私立福岡工業大学附属城東高等学校
	私立福岡女子商業高等学校
	私立福岡大学附属大濠高等学校
	私立福岡雙葉高等学校
	私立福岡舞鶴高等学校
	私立明光学園高等学校
	私立八女学院高等学校
	私立祐誠高等学校
佐賀県	佐賀県立伊万里高等学校
	佐賀県立神埼清明高等学校
	佐賀県立佐賀西高等学校
	佐賀県立武雄高等学校
	佐賀県立致遠館高等学校
	私立弘学館高等学校
	私立龍谷高等学校
長崎県	私立早稲田佐賀高等学校
	長崎県立長崎西高等学校
熊本県	熊本県立八代高等学校
大分県	大分県立日田高等学校
沖縄県	沖縄県立球陽高等学校
	沖縄県立具志川商業高等学校
	私立沖縄尚学高等学校
	Okinawa Christian School International
アメリカ	Kimball Union Academy
	The Williston Northampton School
タイ	NIST International School in Bangkok
ベトナム	Hanoi International School
マレーシア	Marlborough College Malaysia
南アフリカ	American International School of Johannesburg